

よこつる通信

2021年 Vol.04

2021.11.1 発行

発行責任者

地域医療連携センター

西尾/池住

電話 045-371-2511



<https://tsurugaminehospital.com>

訪問診療部からご挨拶

私は1993年に北里大学を卒業し、初期研修終了後1996年から1年間緩和医療を学び、東京都立八王子小児病院、伊勢原協同病院、東芝林間病院および総合新川橋病院を経て2021年8月に横浜鶴ヶ峰病院 訪問診療部に着任いたしました。

当院の訪問診療は開始してから7年が経過しておりますが、訪問診療体制は24時間対応ではなく、主として、かかりつけの患者さまを対象とした訪問診療をおこなっております。

元々、政府が在宅療養を推進する理由には「医療財政の破綻」を避ける目的が1つにあげられます。厚生労働省が発表した資料「在宅医療・介護の推進について」によれば、無作為で抽出されアンケートに応じた国民の約60%以上の方が在宅療養を望んでおり、老後や晩年をどのように過ごすかは、特に中高年層にとっては大きな関心事であり、歳をとって体が思うように動かなくなり病気になって治療が必要でも、最期は住み慣れた家で自分らしく暮らしたいと望む方が増えているように思います。「食べられなくなってきたけど病院には行かずに自宅で看取られたい」、「末期の癌で延命は望まないが苦痛は十分に緩和してほしい」という声が聞こえますので、今後は在宅療養を希望するすべての方に安心して療養できる訪問診療の構築を目指します。

現実的な側面を言えば、家族に迷惑を掛けたくないのが本心は、病院、施設で最後を迎えたい、しかし保険診療上の制限や月額20万を超える施設費用は経済的負担が大きく、独居、高齢夫婦世帯には厳しいこともあり、それらが在宅療養を望まれる理由だと思います。

当院は治療や診療の拠点を病院（入院）ではなく、できるだけ自宅とすることで、このような患者さまの思いや、最期まで一緒に過ごしたいという家族の思いを実現するため、医療機関だけではなく、その他、関係機関との連携を取りながら継続的な医療・介護サービスを提供していくことが必要であると考え、2021年11月にアネックス地域医療を稼働いたします。

アネックス地域医療は訪問診療・訪問看護・訪問介護・居宅介護支援などの事業拠点として、地域の先生方、看護師、ケアマネジャーに求められる病院として、これからの地域医療への貢献を積極的に展開してまいります。

クリニックの訪問診療を受けている患者さまで、一般病棟に入院して全身精査を希望の方、介護疲れで困っている方、介護施設入所中で療養継続が困難となった方、独居で通院ができなくなったなど、どのような事でも結構ですのでご相談ください。

緩和医療、在宅看取り、福祉サービス、社会資源活用、入院に精通したスペシャリストが万全の体制でサポートいたしますので、安心して我々にお任せください。

たとえば

- 病院に通うことが困難となってきた方
- 緩和ケア病棟の申し込みが終わり自宅待機している方
- 住み慣れた自宅で最後まで過ごしたいとお考えの方
- クリニック等で往診、訪問診療を受けている方の緊急入院対応（治療が終わりましたら紹介元の先生へお戻りいただきます）

訪問診療エリア

横浜市旭区（全域）

保土ヶ谷区（一部）、瀬谷区（一部）

泉区（一部）、緑区（一部）

港北区（一部）、戸塚区（一部）

各エリアについてはご相談ください

訪問診療時間

時 間	月	火	水	木	金	土	日
午 前	9時から12時	●	●	●	休	●	休 休
午 後	13時から17時	●	●	●	●	休	休 休

看護部の取り組みをご紹介します

私たち看護部では様々な取り組みを行い、病院で働く看護師の立場に立ったサポートをしています。

○感染対策

全職員は出勤時、退勤時に体温測定を実施し厳重な対策をして仲間や家庭内の感染予防に努めています。

○子育て・介護支援

子育て・介護支援として勤務に応じた 24 時間保育で夜勤はもちろん単発で一時的なお預かりにも対応しています。

○多様な勤務形態

さまざまな生活スタイルに応じた柔軟な時間帯での勤務を可能と
しています。(例えば 9 時～14 時など)



はじめまして。横浜鶴ヶ峰病院保育室です

常勤保育士は 5 名です。通常は保育士 3 名で子どもたち 6 名～8 名を保育しています。朝 8 時から受け入れて保護者の勤務終了まで、安全に楽しく穏やかに和やかに過ごすことを大切にしています。保護者が安心して勤務できるように、いつも万全の態勢で取り組んでいます。



～おさんぽ～

お天気が良くてみんなの体調が良いときは、できるだけ外に出るようにしています。大きなタブの木のある公園に行ったり、線路沿いや帷子川沿いを歩いたりします。遠くに富士山が見えた時、新幹線が通るのを見た時、そうにゃん号に出会えた時…たくさんの素敵な瞬間に出会える散歩です。

～縦割り保育～

少人数のためクラス分けはしていません。現在は 9 か月～3 歳の子供たちが、(平日は)同じお部屋で過ごしています。小さいながらお兄ちゃんやお姉ちゃんの姿から学んだり、逆に自分より小さいお友だちに優しく接したり、縦割り保育だから自然と身につくこともあります。土日祝祭日は、スポット(一時保育)利用で年齢幅も広がりにぎやかです。



～おひるごはん～

保育室のおひるごはんは、(日曜祝祭日をのぞいて)病院から届きます。お子さんの月齢・年齢に合わせて、つぶしたり小さく切ったりしています。味付けは薄めです。手伝ってもらって食べる子、自分で食べる子、和やかな食事時間です。

お友だちが食べたから自分も頑張ると苦手な野菜にチャレンジする姿も見られます。



編集後記／池住

毎日、豪雨、地震、コロナの話題ばかりで楽しい話は聞かれないですね。ようやく感染者数も減り、緊急事態宣言も解除され、人の動きが活発になったように感じます。最近では電車になぜか登山の格好をした人を多くみられるようになりました。でもなぜ? ん? そもそも山に登るのはなんのため? 感染しないから? 気になったのでいろいろ調べました。

皆さんはなぜ、人は山に登るのか知っていますか? 山に登っている間って、ほんとうにつらくて苦しくて自分と闘いながら「もう無理。嫌だ。二度と登るものか。」と登り切り、山頂についた時にその苦しさを少しの間だけ忘れられて、でも下山するときは同じ苦しさを味わう……。そして時間が経つと苦しかったことを鮮明に思い出すようになる。それもひどい思い出じゃなくて、すばらしい思い出として(驚)だから人は、また山に登るらしいですよ。